



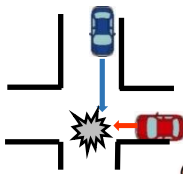
親子で  
まもる  
交通安全

# チャイルドシート



こんな事故が...

母親が助手席に子ども（3歳）を乗せて走行中、信号機のない交差点で出会い頭に衝突  
助手席に乗っていた幼児が重傷を負い、後日死亡した。  
幼児は助手席でシートベルトを着用していたが、衝突により、ベルトが首にかかってしまった。（京都府）



## チャイルドシート

使わないとこんなに危険！

### 抱っこ危険

時速 40 キロの衝突でも  
体重 10 キロの子どもは、  
30 倍の 300 キロもの重さ  
になって投げ出されるため、  
大人の両腕でも支える  
ことは到底出来ません！

### 座るだけの危険

衝突した際はもちろん、  
急なブレーキでも、体を拘束  
されていない子どもは、  
車内でぶつかったり、車外  
に放り出されてしまうこと  
があります。

### 大人用ベルト

体の小さな子どもが大人  
用のシートベルトを着用す  
ると、ベルトから体がすり  
抜け、車内で衝突したり、  
ベルトが首に引っ掛かるなど  
の危険があります。

誤った使用方法では、効果を発揮できません！

- ① 取扱説明書に従って正しく取り付けましょう。
- ② しっかり固定しましょう！  
子どもを乗せたときに緩みが生じないように、取り付ける際は体重をかけてしっかり締め付けて固定しましょう！
- ③ 緩みがないかチェックしましょう！

定期的に  
チェック！



家族全員がベルトを着用するとともに、赤ちゃんの頃からチャイルドシートに座る習慣をつけることが大切です！

取り付けミスを防ぐ ISOFIX のチャイルドシートもあります。

京都府警察



親子で  
まもる  
交通安全

# 子どもから目を離さないで！

こんな事故が...

母親が自宅に遊びに来ていた友人を車で送るために、自宅ガレージから車を出した際、車の前にいた長女（1歳女児）に気付かず轢いてしまい死亡した。  
女児も一緒に車に乗せていくつもりだった。（兵庫県）

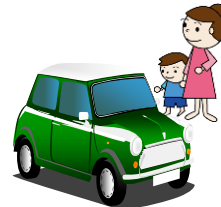


「家の中にいるだろう」「誰かが見てくれているだろう」といった思い込みは危険！また、「そこで待ってて」と言っても子どもは待てません！  
車を動かすときは、一緒に車に乗せるか、「誰とどこにいるのか」を確認しましょう！

自宅ガレージはもちろん、スーパー等の駐車場や保育園等の送り迎えのときなど、絶対に目を離さないようにしましょう。

## ★ 乗り降り時のやくそく

乗るときは子どもを先に、保護者が後から乗る。



降りるときは保護者が先に、子どもを後から降ろす。



子どもにドアを開けさせない。

## 駐車場で注意すること

### ● 駐車場内でも手をつなぎましょう！

駐車場は車の出入りが多く危険な場所であることを教え、幼児を1人で歩かせないようにしましょう。



### ● 車のかげの子どもに注意！



子どもの飛び出しを予測して、スピードを落としましょう。

### ● バックさせるときは要注意！



バックモニターの過信は禁物！窓を開けて、目と耳で周囲の確認を！

京都府警察